2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実力を知る。	オリジナル	
		各コマにおける授業予定	模擬試験(N5～N3レベル)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自身の経験をわかりやすく説明しできるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第1課 文型:～ようになる/なくなる、～がる、～ては/といけない、～ないで/ずにいる		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自身の経験をわかりやすく説明しできるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第1課 筆者の考えを読み取りわかりやすく説明することができる。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1課　ことがらが説明できるようになる。 ～とき、～直後にと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	復習:～とき、～と 文型:～際(に)、～に歳して、～あたって、～たとたん(に)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1課　ことがらが説明できるようになる。 文型:～とき、～直後にと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～(か)と思うと、～(か)と思ったら、～か～ないかのうちに 問題		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	2課　ことがらが説明できるようになる。 ～していると同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	前の課のチェックテスト 文型：～ているところ、間に、～最中だ、～うちに、～ばかりだ・一方だ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	2課　ことがらが説明できるようになる。 ～していると同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～ようとしている、～つつある、～つつ 問題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	3課　ことがらが説明できるようになる。 ～後でと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	前の課のチェックテスト 文型：～た後で、～てから、～てはじめて、～た上（で）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	3課　ことがらが説明できるようになる。 ～後でと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～次第、～て以来・～てこのかた、～てからでないと・～てからでなければ 問題		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	読解文法 日本に来て見たものをわかりやすく説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』（研究者）	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第2課 文型：～と～た、～ことにする、～ことにしている、～ながら（同時、逆説）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 日本に来て見たものをわかりやすく説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』（研究者）	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第2課 日本に来てから経験したことを説明できる		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	4課　ことがらが説明できるようになる。 範囲の始まりと終わり・その間の説明ができる。	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：から～かけて、～で（最終を表す）、～をはじめ（として）、～からして、～にわたって		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	4課　ことがらが説明できるようになる。 範囲の始まりと終わり・その間の説明ができる。	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～をつうじて、～をとおして、～限り、～だけ 問題		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	5課　ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り』を使って言える。	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～だけ、～しか～ない、～に限り		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	5課　ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り』を使って言える。	『新完全マスターN2（スリーエーネットワーク）』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：　～限り（は）、～限りでは、～に鍵って 問題		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	6課　ことがらが説明できるようになる。 だけではなく、それに加えて	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～に限らず、～のみならず、～ばかりか		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	6課　ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り』を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～もとより、～上(に) 問題		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	7課　ことがらが説明できるようになる。 ～ついて、～を相手にして	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～に関して、～をめぐって、～にかけて		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	7課　ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り』を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～対して(A、B)、～にこたえて 問題		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 ことわざやたとえを紹介することができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第4課 文型:～ほど～ない、～ほど、～てほしい/～ないでほしい、～とは思えない		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 ことわざやたとえを紹介することができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第4課 ことわざの使い方を説明することができる		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	8課　ことがらが説明できるようになる。 基準にして	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～をもとに(して)、～に基づいて、～に沿って		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	8課　ことがらが説明できるようになる。 基準にして	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～のもとで、のもとに、～に向け、～向き 問題		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	9課　ことがらが説明できるようになる。 ～に関して、～に対応して	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～につれて、～にしたがって、～に伴って、～と共に		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	9課　ことがらが説明できるようになる。 ～に関して、～に対応して	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～次第だ/～に応じて/～につけて 問題		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	10課　ことがらが説明できるようになる。 2つの同じ言葉を受かって表す言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～とか、とか、～やら、やら、～というか、というか		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	10課　ことがらが説明できるようになる。 2つの同じ言葉を受かって表す言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～にしても、～にしても、～といった 1課-10課復習 問題		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	11課　主観を含めて説明できるようになる。 ～に関係なく、無視して	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ないでvs～なくて、～を問わず、～にかかわりなく、		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	11課　主観を含めて説明できるようになる。 ～に関係なく、無視して	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～もかまわず、～はともかく、～はさておき 問題		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自分の国と日本との違いを説明することができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第5課 文型:～たばかり、～てたまらない、～ようともしない、～なんて		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自分の国と日本との違いを説明することができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第5課 日本に来てから見たことを説明し、自分の考えを説明できる。		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	12課　主観を含めて説明できるようになる。 強く否定する	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:絶対～ない、～はずがない、～ないことはない ～わけがない、～どころではない、～どころか		
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	12課　主観を含めて説明できるようになる。 強く否定しない	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ものか、～わではない、～というわけではない、～というものではない、～というものでもない		
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	13課　主観を含めて説明できるようになる。 ～(話題)は	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～とは、～といえば		
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	13課　主観を含めて説明できるようになる。 ～(話題)は	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～というと、～といえば、～といったら、～(のこと)となると、～といったら 問題		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	14課　主観を含めて説明できるようになる。 逆説	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～だけ、～しか～ない、～に限り		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	14課　主観を含めて説明できるようになる。 逆説	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～限り(は)、～限りでは、~にって限って 問題		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	15課　主観を含めて説明できるようになる。 もし～、たとえ～(後件に注意する)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	N3復習、～としたら、～とすれば、～とすると、～となったら、～となれば、～となると、～ものなら		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	15課　主観を含めて説明できるようになる。 もし～、たとえ～(後件に注意する)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～(よ)うものなら、～ないことには、～を抜きにしては、～としても、～にしても、～にしろ、～にせよ 問題:1-15復習		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 過去の経験を例に挙げて、自分の考えを説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第6課 文型:～とか～とか、～といっても、～ものだ、～ものではない、～たつもりだ		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 過去の経験を例に挙げて、自分の考えを説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第6課 筆者の考えを読み取り、自身の考えを説明できる		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	16課　主観を含めて説明できるようになる。 理由を表す言葉(1)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:N4文型復習(理由～て、～から、～ので) ～によって、～ものだから、～もので、～もの		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	16課　主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～おかけだ、～せいだ、～あまり、～につき 問題		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	17課　主観を含めて説明できるようになる。 理由を表す言葉(2)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ことだし、～のことだから、～だけに		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	17課　主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～ばかりに、～からには、～以上は、～上は、　～ばかりの復習 問題		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	講義形式	授業を通じての到達目標	18課　主観を含めて説明できるようになる。 できない、できる	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　初級復習(可能形)、～にくいvs～づらい ～がたい、～わかにはいかない、～わけにもいかない (「わけ」復習)		
第47回	講義形式	授業を通じての到達目標	18課　主観を含めて説明できるようになる。 できない、できる	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～かねる、～ようがない、～どころではない、～得る/得ない 問題		
第48回	講義形式	授業を通じての到達目標	19課　主観を含めて説明できるようになる。 ～を見て評価すると、～の立場で評価すると	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　N3文型復習(～を考えると、～からいうと) ～わりには、～にしては		
第49回	講義形式	授業を通じての到達目標	19課　主観を含めて説明できるようになる。 ～を見て評価すると、～の立場で評価すると	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～だけのことはある、～として、～にとって、～にしたら、 ～にすれば、～にしてみれば、～にしても		
第50回	講義形式	授業を通じての到達目標	20課　主観を含めて説明できるようになる。 結果がどうなったか。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　初級復習(～たらvs～と)、～ところ、～きり、～あげく 問題		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	講義形式	授業を通じての到達目標	20課　主観を含めて説明できるようになる。 結果がどうなったか。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：　～末(に)、～ところだった、～ずじまいだ 問題		
第52回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 実際の経験を例を挙げて、自分の考えを説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第10課 文型：～ようと、～につれて、～どころか/かえって～、～わけだ、～からといって～わけではない、		
第53回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 実際の経験を例を挙げて、自分の考えを説明できるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第10課 筆者の気持ちを読み取り、自分の考えを述べることができる		
第54回	講義形式	授業を通じての到達目標	21課　主観を含めて説明できるようになる。 強調	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：　～こそ、～くらい、～など、～まで		
第55回	講義形式	授業を通じての到達目標	21課　主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～として～ない、～さえ、～てでも 問題		
第56回	講義形式	授業を通じての到達目標	22課　主観を述べることができる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：だろうと思う、かもしれない、はずだvsべきだ ～とみえる、～かねない、～おそれがある		
第57回	講義形式	授業を通じての到達目標	22課　主観を述べることができる。 ～だろうと思う	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～まい、～ではあるまい、～に違いない、～に相違ない、～に決まっている 問題		
第58回	講義形式	授業を通じての到達目標	23課　主観を述べることができる。 感想を言う、主張する	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：　～と思う、～ものだ、～というものだ、～にすぎない		
第59回	講義形式	授業を通じての到達目標	23課　主観を述べることができる。 感想を言う、主張する。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～に他ならない、～に越したことはない、～しかない、～よりほかない、～べきだ/～べきではない 問題		
第60回	講義形式	授業を通じての到達目標	24課　主観を述べることができる。 提案する、意志を表す。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～ませんかvs～ましょうか、～たほうがいい、 ～ようではないか、～ことだ、～ものだ、～ものではない		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	講義形式	授業を通じての到達目標	24課　主観を述べることができる。 提案する、意志を表す	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:　～ことはない、～まい/～ようか～まいか、～ものか 問題		
第62回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自身の思い出を話すことができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第13課 文型:～まま、～べき、～のことだから、～のことだから、きっかけで/に		
第63回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 自身の思い出を話すことができるようになる	『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」第13課 子供の頃の思い出を話すことができる		
第64回	講義形式	授業を通じての到達目標	25課　主観を述べることができる。 強く感じる・思いが強いられる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:「～てしかたがない・～てしょうがない・～てたまらない」「～てならない」		
第65回	講義形式	授業を通じての到達目標	25課　主観を述べることができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ないではいられない、～ないわけにはいかない、 ～ざるを得ない」		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	講義形式	授業を通じての到達目標	26課　主観を述べることができる。 願う、感動する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～たいvs～てほしい、～たいものだ・～てほしいものだ、～ものだ		
第67回	講義形式	授業を通じての到達目標	26課　主観を述べることができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～ないもの（だろう）か、～ものがある、～ことだ、～ことだろう 問題		
第68回	講義形式	授業を通じての到達目標	復習	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	1-26課		
第69回	講義形式	授業を通じての到達目標	元の言葉から意味を推測できるようになる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「際する」「あたる」「通じる」など		
第70回	講義形式	授業を通じての到達目標	「言う」「する」を使った文型をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～といった、～からしてなど		
第71回	講義形式	授業を通じての到達目標	古い言葉から元の言葉の意味を理解する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～ず、～べし、～まい、など		
第72回	講義形式	授業を通じての到達目標	「もの」「こと」を使った言葉をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～ものか、～ものの、～ことだし、～ことだなど		
第73回	講義形式	授業を通じての到達目標	「わけ」「ところ」を使った言葉をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～わけがない、～わけではない、～どころではない、～たところなど		
第74回	講義形式	授業を通じての到達目標	同じ言葉、対になる言葉、特別な助詞の使い方をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～やら、～やら、～だの、～だの、など、までなど		
第75回	講義形式	授業を通じての到達目標	文の文法 文の組み立てのルールを身につける。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	決まった形 文末に否定の言い方がくるもの、疑問視につくもの、名詞を説明する形式など。		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	文法(中上級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。		

《授業科目における学習内容》

毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。

《成績評価の方法と基準》

1．定期試験:70%
2．宿題提出:20%
3．チェックテスト:10%
成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』
『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』
『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版』(研究者)『テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。
授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。
週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。

《履修に当たっての留意点》

将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ、話をまとめて説明できる力を身につける。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の文法 文章の呼応、時制を理解する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	主語、述語、文末制限、時制(文末制限は語彙で学ぶ)。		
第77回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の文法 条件を表す文を理解する。自他の使い分けができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「と、ば、たら、なら、ても」、「自他動詞」		
第78回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の文法 「～ている」「～ていく」の使い分け、受身・使役・使役受身が使える。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	視点を動かさずに表現する。		
第79回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の文法 授受動詞	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「～てあげる」「～てもらう」「～てくれる」の使い分け		
第80回	講義形式	授業を通じての到達目標	文章の文法 指示表現が使えるようになる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク」	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文章中の「こ」「そ」「あ」、「は」「が」の使い分け 接続表現など		